



ていじせい 定時制の旋風

2024年 6月号

発行者 教頭 松本康一

県立小野工業高等学校 定時制課程

「努力している間が幸福」

幸福（しあわせ）とは何でしょう。みなさんは今、幸福（しあわせ）ですか。幸福というと、人は誰でも“自分だけの幸せ”を考えます。みなさんはどんな時「幸せだなあ」と感じますか。

「何か自分の欲しいものを買ってもらった時」

「テストの成績が良かった時」

「親や先生、バイト先の上司からほめられた時」

「すてきな恋人と巡り会った時」

「お金持ちになった」などなど

これらは、すべて間違いなく幸せなことでしょう。

人間は今までより、もっともっと幸せになろうと思って、文明や文化を発展させ、生活を便利にしてきました。にもかかわらず、なぜか本当に心から幸せだと思えない社会になっていると思いませんか。

それは、この物質で豊かになった現在の「幸せ」は他人がつくってくれたものだからではないでしょうか。本当の「幸せ」は、やはり自分で努力してつかまなくてはなりません。だから「幸せになろうと努力している時が幸福」なのです。さらに言えば、自分が幸せになることが第一ですが、次の幸せは、それを人に分け与えることではないでしょうか。

人間は自分自身が生かされている時、他者を生かそうとしている時に「幸せ」を感じるようです。私たちが心から「幸せ」を感じるのは、「幸せになろうと努力している時」です。

この高校時代に、精一杯自分自身を鍛えてほしいと思います。その姿は何よりも輝いていますし、きっと「幸せ」も見えてくるはずです。

【1学期期末考査】

7月2日（火）から1学期期末考査が始まります。

1学期の成績は、中間考査と期末考査の結果を中心として、総合的につきます。皆さん、中間考査の結果はどうでしたか？満足のいく点数が取れましたでしょうか？

では、一番学力をつける方法には、どのような方法があるのでしょうか。学校内でその専門教科のことを一番よく知っている人は、その教科を教えてくれる先生です。教科の知識や考え方を手取り早く、それも的確に身につける方法は、その先生に直接個人指導をしてもらうことが一番の早道となります。分からない所は、直接その先生のところにいって、詳しく分かるまで質問することです。中には普段、教え方が厳しいと感じる人もいるかもしれません。しかし、教え方が厳しいのは、その教科や授業に熱心だからです。そういう先生こそ授業が終わった後、話などをするとみなさんのことを本当によく考えておられます。

授業前や放課後を利用して、それぞれの先生にいろいろなことを教わりにいってください。きっと人生の先輩としていろいろと親切に教えてください。授業中とは違う教え方の先生と親しくなるのも、面白い勉強法だと思います。何も恐れず、遠慮などもしないで職員室まで予約を取りにきてください。

今回の期末考査で1学期の成績が決まり、4年生と三修制の3年生は進学や就職の最終評価となります。悔いを残さないように早い段階で期末考査に向けての計画を立て学習に取り組みましょう。皆さんの好結果を楽しみにしています。

（文責 教頭 松本 康一）